

# CHAPTER 1 Japanese Artist Gives E-waste New Life (pp.8-23) CAN-DO リスト

## 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・長坂真護氏が電子廃棄物を使ったアート作品を通して訴えていることを読み取ることができる。【全体】
- ・不法に廃棄された電子廃棄物にどのような危険があるかを理解することができる。【Part 1】
- ・長坂氏の生い立ちと、アグボグブローシーに出会うまでの経緯を理解することができる。【Part 2】
- ・長坂氏が見たアグボグブローシーの光景を想像することができる。【Part 2】
- ・アグボグブローシーの人々を救うために長坂氏が思いついたことや、現地の人々に約束したことを理解することができる。【Part 3】
- ・長坂氏が制作するアート作品の評価を理解することができる。【Part 4】
- ・長坂氏の読者へのアドバイスを理解することができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

## 2. 言語リソース (Language Resources)

### 2.1 文法 (Grammar)

- ・未来を展望して語る構文ネットワーク【GC-1】
  - 1.1 未来を表す表現の意味の違いを理解することができる。
  - 1.2 未来を表す表現を用いて、イラストが表す状況を表現することができる。
- ・使役の構文【GC-2】
  - 2.1 使役の構文の働きと意味を理解することができる。
  - 2.2 使役の構文を用いて、状況に合った会話を完成させることができる。

### 2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
  - (Pt.1) device, valuable, remove, carelessly, previous, consist
  - (Pt.2) prefecture, brand, debt, dump, slum, for, mask, breathe
  - (Pt.3) protect, responsibility, gradually, situation, recycling
  - (Pt.4) endeavor, public, determined, slight, matter, stretch, bit
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
  - (Pt.1) e-waste, artwork, discard, process, extract, toxic, hazardous,
  - (Pt.2) heart-breaking, Philippines, graveyard, Accra, Ghana, speechless
  - (Pt.3) week-long, local, trustworthy, minimize
  - (Pt.4) ongoing
- ・「公害・環境問題」に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
  - (Pt.1) not do without doing, make a living, come to do
  - (Pt.2) by oneself, for short, set foot in ..., a sea of ..., give off..., here and there, melt ... away, with ... on, come over
  - (Pt.3) open up
  - (Pt.4) come true, to some degree, be willing to do, on the other hand, let's say, within one's reach, a little bit

## 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・100万円の有効な使い道について書いた文章を発表することができる。【MIY-STEP 3】

### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・書いた内容についてグループで話し合い、一番良いものを選ぶことができる。【MIY-STEP 3】

### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・100万円の有効な使い道について、理由を含めて文章を書くことができる。【MIY-STEP 2】
- ・「公害・環境問題」に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・本文で読んだ長坂氏の取り組みやメッセージを踏まえて、100万円の有効な使い道について書き、それをグループで話し合い、発表することができる。【MIY-STEP 2, 3】

## 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「公害・環境問題」に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;  
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

## CHAPTER 2 Stationery: Changing Our Lives for the Better (pp.24-37) CAN-DO リスト

### 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・私たちににとって身近な文房具の開発や発展の歴史を学び、その未来について考えることができる。【全体】
- ・針のないホチキスを例に、文房具の開発過程や生活への影響について考えることができる。【Part 1】
- ・テープのりの発明や改良の経緯を読み取ることができる。【Part 2】
- ・1の開発の経緯や、日本とヨーロッパの学生が使用する筆記具の違いを理解することができる。【Part 3】
- ・日本の文房具が海外でも人気であることとその理由を読み取ることができる。【Part 4】
- ・新しい生活様式や考え方が文房具に与える影響を理解し、これからの文房具について考えることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEETを完成させることができる。【R&R-1】

### 2. 言語リソース (Language Resources)

#### 2.1 文法 (Grammar)

- ・現在を語る構文ネットワーク【GC-1】
  - 1.1 現在を表す表現の意味の違いを理解することができる。
  - 1.2 現在を表す表現を用いて、イラストが表す状況を表現することができる。
- ・完了形の受動態【GC-2】
  - 2.1 完了形の受動態の働きと意味を理解することができる。
  - 2.2 完了形の受動態を用いて、状況に合った会話を完成させることができる。

#### 2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)  
(Pt.1) mechanical, permanent, correction, prove, document, bound, distribute, annual, impress, economical  
(Pt.2) dry, stuck, dot, method, smoothly  
(Pt.3) inspire, market, requirement, nor, trace, erase, trial, launch typically, department  
(Pt.4) stylish, reasonable, spite, popularity, undergo, due, reflection, passion
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)  
(Pt.1) ballpoint, highlighter, sticky note, whiteout, masking tape, stapleless, user-friendly, staple, delegate, reload  
(Pt.2) evenly, so-called, evenness, optimize, adhesiveness, replaceable, cartridge  
(Pt.3) erasable, coloring, thermosensitive, utilize, frictional, marketing  
(Pt.4) high-quality, digitalization, paperless, mindset, craftsmanship
- ・「文房具」に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

#### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。  
(Pt.1) for the better, over time  
(Pt.2) come out  
(Pt.3) depending on ..., trial and error, on sale  
(Pt.4) take up ..., in spite of ..., due to ..., in a sense

### 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

#### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEETを完成させることができる。【R&R-1】

#### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

#### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成したRECAP SHEETを使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・2つの文房具を比較・対照した内容について発表することができる。【MIY-STEP 3】

#### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・文法事項を用いて作成したダイアログをもとに、ペアでやり取りすることができる。【GC-2】

#### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・2つの文房具を比較・対照した文章を書くことができる。【MIY-STEP 3】

・「文房具」に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

・本文で読んだ文房具の開発や発展の歴史を踏まえて、2つの文房具を取り上げ、比較・対照した文章を作成し、クラスに向けて発表することができる。【MIY-STEP 2, 3】

### 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「文房具」に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;  
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

## CHAPTER 3 Salt: More than Just a Seasoning (pp.38-51) CAN-DO リスト

### 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・生物と塩との関係について、生物の進化をさかのぼって考察することができる。【全体】
- ・塩のさまざまな用途や、ナトリウムが生物の体に必要な理由を読み取ることができる。【Part 1】
- ・生物の進化の過程において陸上動物の体がナトリウムを必要とするようになった理由を読み取ることができる。【Part 2】
- ・陸上の生物が新たな環境に適応するために舌と腎臓が発達したことを理解することができる。【Part 2】
- ・農業の発達により人類に起こったナトリウムの摂取不足とその影響を読み取ることができる。【Part 3】
- ・人類が調味料として塩を重要視する一方、塩の過剰摂取は深刻な健康問題を引き起こしうることを理解することができる。【Part 4】
- ・塩の益・害を理解し、ナトリウム摂取量の削減について考えることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

### 2. 言語リソース (Language Resources)

#### 2.1 文法 (Grammar)

- ・判断などを表す形容詞のネットワーク【GC-1】
  - 1.1 判断などを表す形容詞の意味の違いを理解することができる。
  - 1.2 判断などを表す形容詞を用いて、状況に合った会話を完成させることができる。
- ・形式目的語構文【GC-2】
  - 2.1 形式目的語構文の働きと意味を理解することができる。
  - 2.2 形式目的語構文を用いて、高校生活を振り返る文章を完成させることができる。

#### 2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
  - (Pt.1) suppose, preserve, companion, nutrient, oxygen, restore, consume
  - (Pt.2) form, organ, function, mineral, commonly, onto, composition, constantly, adjust, surrounding, detect, transform, excess
  - (Pt.3) liter, agriculture, crop, stable, wheat
  - (Pt.4) deficiency, somehow, pressure, excessive
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
  - (Pt.1) seasoning, pinch, sprinkle, fundamental, ferment, disinfection, de-ice, inseparable, component, sodium, transmit, expel, urine,
  - (Pt.2) life form, -celled, multi-, organism, evolve, evolutionary, seawater, elemental, taste bud, kidney, filter
  - (Pt.3) Maasai, drastically, harvest, intake, potassium
  - (Pt.4) crave, -related, stroke, indispensable
- ・「塩・健康」に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

#### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
  - (Pt.1) do without ..., set off on ..., keep ... going
  - (Pt.2) as you know, move out, take in ..., make it possible to do
  - (Pt.3) result in...
  - (Pt.4) take place, get used to doing, no longer, no doubt, drive O to do

### 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

#### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

#### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

#### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・塩に関する驚くべき事実について、クラスに向けて発表することができる。【MIY-STEP 3, 4】

#### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】

### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・塩に関する驚くべき事実について表にまとめ、与えられたフォーマットを用いて文章を書くことができる。  
【MIY-STEP 1, 2】
- ・「塩・健康」に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・本文で読んだ塩についての情報を踏まえて、塩に関する驚くべき事実 3 つを調べて、文章にまとめる。そのうえで発表の練習を行い、実際に発表することができる。【MIY-STEP 1~4】

## 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「塩・健康」に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;  
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

## CHAPTER 4 The Story of Holly Butcher (pp.52-65) CAN-DO リスト

### 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・ホリー・ブッチャーさんのメッセージを通じて、私たち日常の出来事がいかにかけがえのないものであるかを理解することができる。【全体】
- ・死が迫ったホリーさんの心情やこのメッセージを書くにあたっての思いを読み取ることができる。【Part 1, 4】
- ・些細な問題を気にするのではなく、健康に感謝し精神的な幸せを見つけるべきだというメッセージを読み取ることができる。【Part 1, 2】
- ・人生において、お金を持っていることやスマートフォンで写真を撮ること以上に何が大切かを読み取ることができる。【Part3, 4】
- ・ホリーさんのメッセージから、献血の重要性について考えることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

### 2. 言語リソース (Language Resources)

#### 2.1 文法 (Grammar)

- ・頻度を表す構文ネットワーク【GC-1】
  - 1.1 頻度を表す表現の意味の違いを理解することができる。
  - 1.2 頻度を表す表現を用いて、文を完成させることができる。
- ・複合関係詞【GC-2】
  - 2.1 複合関係詞の働きと意味を理解することができる。
  - 2.2 複合関係詞を用いて、親友へのメッセージを完成させることができる。

#### 2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)  
(Pt.1) realise = realize, tick, grey = gray, fate, whenever, complain, grateful, minor, thankful  
(Pt.2) physically, appreciate, emotional, spiritual, flu, sore  
(Pt.3) stranger, silly, jewellery = jewelry  
(Pt.4) capture, miserable, concerning, extra
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)  
(Pt.1) New South Wales, mortal, wrinkled, unpredictable, inevitability, taboo, meaningless  
(Pt.2) hairdresser, lament, insignificant, time-consuming, commonplace, annoying, life-threatening  
(Pt.3) incredibly, weird  
(Pt.4) dip, donate, prolong, donation, 'til = until
- ・「人生・死・病気」に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

#### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。  
(Pt.1) leave the world, out of one's hands, for the most part  
(Pt.2) get caught in ..., far from ..., as a whole, in addition  
(Pt.3) fall sick, take ... out, above all  
(Pt.4) put off ..., be meant to be done, nothing but ...

### 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

#### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

#### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

#### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】

#### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・ホリーさんへの手紙にどんな情報を含める必要があるかグループで話し合うことができる。【MIY-STEP 4】

#### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・本文の中で最も印象深い箇所を選び、選んだ理由とそれが自分の人生にどう関係しているのか書くことができる。【MIY STEP-1】

- ・STEP 2の手紙を見本にして、ホリーさんへの手紙を書くことができる。【MIY-STEP 3】
- ・「人生・死・病気」に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・本文で読んだホリーさんからのメッセージの中から最も印象深い箇所を選び、そのことをホリーさんに伝える手紙を書く。書いた内容についてパートナーからフィードバックをもらい、内容を推敲することができる。【MIY-STEP 1~5】

### 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「人生・死・病気」に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;  
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

## CHAPTER 5 From Overtourism to Sustainable Tourism (pp.66-81) CAN-DO リスト

### 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・世界各地におけるオーバーツーリズムの実情とその取り組みを理解したうえで、持続可能な観光について考えることができる。【全体】
- ・世界や日本の観光客数の推移を理解したうえで、オーバーツーリズムが観光地にもたらす弊害を想像することができる。【Part 1】
- ・西表島（日本）とピピ島（タイ）のオーバーツーリズムの問題点とその解決策について理解することができる。【Part 2】
- ・ルアンパバーン（ラオス）、バルセロナ（スペイン）、白川村（日本）、ヴェネツィア（イタリア）のオーバーツーリズムの問題点とその解決策について理解することができる。【Part 3】
- ・持続可能な観光について理解することができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

### 2. 言語リソース (Language Resources)

#### 2.1 文法 (Grammar)

- ・否定構文のネットワーク【GC-1】
  - 1.1 否定を表す表現の意味の違いを理解することができる。
  - 1.2 否定を表す表現を用いて、状況に合った会話を完成させることができる。
- ・冠詞の用法【GC-2】
  - 2.1 冠詞の働きと意味を理解することができる。
  - 2.2 冠詞を適切に用いて、状況に合った会話を完成させることができる。

#### 2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)  
(FYI) tourism, memorable, industry, observe, online, destination, stunning, architecture, historic, diverse, feature, scenic, heritage  
(Pt.1) economy, council, account, employ, sharply, decline, forecast, enjoyable, negative  
(Pt.2) representative, species, soar, resident, surge, habitat, access, restrict, engage, accompany, bay, prohibit, closure, measure, maximum, monitor  
(Pt.3) shift, ritual, spectacle, charm, protest, alternative, crack, reserve, advance, cathedral, overall, booking, lessen, admission, fund, ensure, awareness, annoy, litter  
(Pt.4) address, previously, unknown, increasingly
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)  
(FYI) overtourism, sustainable, overview, Barcelona, Venice, iconic, gondola, Luang Prabang, Laos, colonial, Phi Phi, lagoon, coral reef, lush, farmhouse  
(Pt.1) contributor, sector, pandemic, tally  
(Pt.2) moderator, wildcat, roadkill, certified, overcrowding, replenish, speedboat  
(Pt.3) Buddhist, respectful, congestion, publicize, unlicensed, clear-cut  
(Pt.4) viral, economically, day-to-day, responsibly
- ・「観光」に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

#### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
  - (Pt.1) account for ...
  - (Pt.2) at a time, up to ...
  - (Pt.3) crack down on ..., in advance
  - (Pt.4) take ... into account, go viral, at times, go on doing

### 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

#### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

#### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

#### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】

<ul style="list-style-type: none"> <li>ある地域のオーバーツーリズムの状況とその対策についてまとめたポスターを使って、発表することができる。【MIY-STEP 5, 6】</li> </ul>
<b>3.4 話すこと（やり取り）（Spoken Interaction Domain）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり，短い会話を行ったりすることができる。【TPS】</li> <li>グループ内で役割分担を決め，協力してポスターを作成することができる。【MIY-STEP 3, 4】</li> </ul>
<b>3.5 書くこと（Writing Domain）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ある地域のオーバーツーリズムの状況とその対策について調べ，ポスターにまとめることができる。【MIY-STEP 3, 4】</li> <li>「観光」に関する語句を理解しながら，穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】</li> </ul>
<b>3.6 領域統合（Integrated Domains）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文で読んだ世界各地のオーバーツーリズムの実情を踏まえて，ある地域のオーバーツーリズムの状況とその対策について調べ，ポスターにまとめる。さらにポスターを使って，クラスに向けて発表することができる。【MIY-STEP 1～6】</li> </ul>
<b>4. 学習への向き合い方と学習管理（Attitude &amp; Learning Management）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師の発問に対して積極的に反応したり，ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。</li> <li>本課で学習した文法や語彙・慣用表現を，コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。</li> <li>「観光」に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ，ネットワークの充実化を図っている。</li> <li>本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして，定着を図っている。</li> <li>本課の全文を10回以上音読し，定着を図っている。【通読用本文】</li> <li>授業の振り返り（リフレクション）を行い，学習の成果と課題を明確にしている。</li> </ul>

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;  
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

## CHAPTER 6 Living Well with Your Smartphone (pp.82-97) CAN-DO リスト

### 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・スマートフォンのメリット・デメリットを理解し、デジタル機器との付き合い方を考えることができる。【全体】
- ・スマートフォンのメリットとデメリットについて理解することができる。【Part 1】
- ・スマートフォンに関するチェックリストについて理解し、答えることができる。【Part 1】
- ・スマートフォン依存症の危険性や FOMO について理解することができる。【Part 2】
- ・デジタルデトックスの効果について理解することができる。【Part 3】
- ・デジタルウェルビーイングについて理解し、現実の世界とデジタルの世界の両方を楽しむことが大事であることを理解することができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

### 2. 言語リソース (Language Resources)

#### 2.1 文法 (Grammar)

- ・名詞節の構文ネットワーク【GC-1】
  - 1.1 名詞節の意味の違いを理解することができる。
  - 1.2 名詞節の表現を用いて、メッセージをやり取りすることができる。
- ・「動詞+名詞+過去分詞」【GC-2】
  - 2.1 「動詞+名詞+過去分詞」の働きと意味を理解することができる。
  - 2.2 「動詞+名詞+過去分詞」を用いて、状況に合った会話を完成させることができる。

#### 2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
  - (Pt.1) usage, install application, range, payment, virtual, anytime, entertain, addiction, conduct, ministry, internal, affair, teens, disorder, institution, implement, exceed
  - (Pt.2) vision, span, isolation, online, extreme, pose, latest, uneasy, post, constant, digital, depression
  - (Pt.3) purify, resource, disconnect, refresh, workshop, promote, basis, automatically, aside, specific, encouragement, foster
  - (Pt.4) globally, endless, boost, face, concept, well-being, term, simulate, replicate, instance
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
  - (Pt.1) cashless, versatility, revolutionize, prioritize, notable, countermeasure, checklist, addicted
  - (Pt.2) impaired, readjust, dependency, digitally
  - (Pt.3) detox, abbreviation, detoxification, mindfulness, tech, track, offline, real-world
  - (Pt.4) productivity, emotionally, mindful, detract, intertwine, vibrant, recreate
- ・「スマートフォン」に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

#### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
  - (Pt.1) keep in mind ..., on the rise
  - (Pt.2) lose track of ..., run into ..., miss out, at all times, keep up with ..., leave ... behind, behind one's back
  - (Pt.3) stay away from ..., set aside ...
  - (Pt.4) at the same time, On the one hand, ..., On the other hand, ..., for instance

### 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

#### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

#### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

#### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】

#### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・歩きスマホを法律で禁止すべきかどうかについて、グループでミニ・ディベートを行う。【MIY-STEP 3】

#### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・与えられたフォーマットを用いて、ディベートの発言内容を書くことができる。【MIY-STEP 2】

・「スマートフォン」に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

・本文で読んだスマートフォンとの付き合い方を踏まえて、歩きスマホを法律で禁止すべきかどうかについての意見と理由をまとめ、グループでミニ・ディベートを行うことができる。【MIY-STEP 1~3】

### 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「スマートフォン」に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;  
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

## CHAPTER 7 *Factfulness*: The World Is Not So Simple (pp.98-113) CAN-DO リスト

### 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・ *Factfulness* に書かれている例を通して、世界の問題を異なる視点から捉える大切さを理解できる。【全体】
- ・ ファクトフルネスの説明の導入としての3つの質問に答えることができる。【Part 1】
- ・ データをもとに、分断本能について理解することができる。【Part 2】
- ・ データをもとに、ネガティブ本能について理解することができる。【Part 3】
- ・ データをもとに、直線本能について理解することができる。【Part 4】
- ・ 事実をもとに考えることで世界の見方が変わるという筆者のメッセージを理解することができる。【Part 4】
- ・ 本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

### 2. 言語リソース (Language Resources)

#### 2.1 文法 (Grammar)

- ・ 過去を回想して語る構文ネットワーク【GC-1】
  - 1.1 過去を表す表現の意味の違いを理解することができる。
  - 1.2 過去を表す表現を用いて、日誌を完成させることができる。
- ・ 付帯状況を表す with【GC-2】
  - 2.1 付帯状況の構文の働きと意味を理解することができる。
  - 2.2 付帯状況の構文を用いて、世界が抱える問題について書くことができる。

#### 2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・ 本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)  
(FYI) statement, chart, percentage, upward, downward, steady, indicate, represent  
(Pt.1) primary, proportion, poverty, educated, similarly, instinct, limitation, tendency, determine, perspective, blame  
(Pt.2) distinction, valid, indeed, survival, accurate, dramatic, conflict, division  
(Pt.3) majority, actual, viewer, factor, present, root, logical, hesitate, advice  
(Pt.4) roughly, curve
- ・ 上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)  
(FYI) segment, peak, plunge, fluctuate, level, flatten, fluctuation, dramatically, steeply, vertical, horizontal  
(Pt.1) et al., Swedish, physician, low-income, double, halve, mistaken, negativity, generalization, generalize, urgency  
(Pt.2) mortality, incline, binary, distinct, intuitive  
(Pt.3) expectancy, alert, highlight
- ・ 「事実・感情」に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

#### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・ 次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。  
(FYI) level off  
(Pt.1) more or less  
(Pt.2) on average, in the first place, with ... in mind  
(Pt.3) in reality, that is  
(Pt.4) based on ...

### 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

#### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・ 本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・ パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】
- ・ 3つの図表についての講義を聞き、要点をまとめたメモをとることができる。【MIY-STEP 1, 2】

#### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・ 内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・ 理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

#### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・ 完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・ グループの中で選んだ最も良いメモをクラスで発表することができる。【MIY-STEP 5】

#### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・ 内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・ 4~5人のグループで話し合い、最も良いメモを決めることができる。【MIY-STEP 4】

### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・講義を聞きながら取ったメモを確認し、必要ならば修正することができる。【MIY-STEP 3】
- ・「事実・感情」に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・3つの図表についての講義を聞き、要点をまとめたメモをとることができる。さらにグループで話し合って最も良いメモを選び、その内容をクラスで発表することができる。【MIY-STEP 1~5】

## 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「事実・感情」に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;  
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

## CHAPTER 8 The Psychology of Everyday Experience (pp.114-129) CAN-DO リスト

### 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・私たちの行動や心理の多くには、社会心理学の理論に基づいた理由が存在することを理解できる。【全体】
- ・2つの例をイメージしながら社会心理学の定義について理解することができる。【Part 1】
- ・door-in-the-face technique を使った例から「返報性の原理」を理解することができる。【Part 2】
- ・さまざまな事例を読み、「社会的促進」が作業効率を上げることを理解することができる。【Part 3】
- ・私たちが「認知的不協和」を軽減するために考え方や行動を変えることを理解することができる。【Part 4】
- ・社会心理学が私たちの日常生活に役立っていることについて理解することができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

### 2. 言語リソース (Language Resources)

#### 2.1 文法 (Grammar)

- ・話し手の態度を示す助動詞ネットワーク【GC-1】
  - 1.1 話し手の態度を示す助動詞の意味の違いを理解することができる。
  - 1.2 話し手の態度を示す助動詞を用いて、パンフレットを完成させることができる。
- ・「助動詞+完了形」【GC-2】
  - 2.1 「助動詞+完了形」の働きと意味を理解することができる。
  - 2.2 「助動詞+完了形」を用いて、状況に合った会話を完成させることができる。

#### 2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)  
(FYI) psychology, mechanism, examine, ignore, adapt, interact, alter, outlook, criminal, specialist  
(Pt.1) stock, tempt, initially, phenomenon, inclined, behave, arise, pioneer, scientific, attempt  
(Pt.2) interaction, technique, strategy, reluctant, repay, favor, loan, concession, allowance  
(Pt.3) fast-food, compete, laboratory, reel, length, enhance, strengthen, efficient, learner  
(Pt.4) noodle, conclude, particularly, consistent, discomfort, attitude, disappointing, therefore
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)  
(FYI) broadly, theoretical, cognitive, developmental, clinical, damaging  
(Pt.1) snob, availability, reactance  
(Pt.2) unreasonable, demanding, norm, reciprocity, reciprocal  
(Pt.3) psychologist, racer, facilitate, facilitation  
(Pt.4) slurp, contradictory, dissonance, consistency
- ・「心理学」に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

#### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
  - (Pt.1) between you and me, cannot help doing, feel like doing
  - (Pt.2) lie behind ..., put forward ..., turn down ..., in a row
  - (Pt.3) set a record, reel in ..., as ... as possible, in pairs, in this light

### 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

#### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

#### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

#### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・登場人物になりきり、スキットを演じることができる。【MIY-STEP 4】

#### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・演じる役柄をペアで話し合っ決めて決めることができる。【MIY-STEP 1, 2】

#### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・スキットの原稿を書き上げることができる。【MIY-STEP 3】
- ・「心理学」に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・本文で印象に残った場面のスキットを演じるにあたり、ペアで役割分担を決め、責任を持って最後まで演じることができる。【MIY-STEP 1~4】

### 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「心理学」に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;  
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

## CHAPTER 9 Minority Pride: Preserving Ainu Folklore (pp.130-147) CAN-DO リスト

### 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・知里幸恵さんの取り組みを通じて、文化や言語の消滅が意味するものについて考えることができる。【全体】
- ・幸恵が受けた差別と、金田一京助との出会いを読み取ることができる。【Part 1】
- ・金田一が幸恵にした提案を読み取ることができる。【Part 2】
- ・幸恵が東京に行くことになった経緯と彼女の抱える健康上の問題を読み取ることができる。【Part 2】
- ・雑誌記事の企画の中止を受けた幸恵の日記から、彼女の思いを読み取ることができる。【Part 3】
- ・『アイヌ神謡集』の出版と幸恵の死を、時間の流れを追って読み取ることができる。【Part 4】
- ・幸恵の本の序文より、幸恵がアイヌの未来について願っていることを読み取ることができる。【Part 4】
- ・本文の内容を理解し、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

### 2. 言語リソース (Language Resources)

#### 2.1 文法 (Grammar)

- ・比較構文のネットワーク【GC-1】
  - 1.1 比較を表す表現の意味の違いを理解することができる。
  - 1.2 比較を表す表現を用いて、製品を説明する文章を完成させることができる。
- ・無生物主語構文【GC-2】
  - 2.1 無生物主語構文の働きと意味を理解することができる。
  - 2.2 無生物主語構文を用いて、状況に合った会話を完成させることができる。

#### 2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
  - (Pt.1) minority, devote, entire, scholar, recall, preservation, oral, literature
  - (Pt.2) cure, translate, fluent, propose, accuracy, translation, praise, oppose, determination, convince
  - (Pt.3) publisher, criticize, otherwise, endure, hardship, relieved, satisfied, toll, warn
  - (Pt.4) proof, pale, entitle, very, edit, fatal, regain, misery
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
  - (Pt.1) Ainu, folklore, vocational, discriminate, linguistics, folktale, storyteller, recite, recitation
  - (Pt.2) heroic, epic, Roman, transcription, flawless
  - (Pt.3) housework, non-, cruelly, manuscript
  - (Pt.4) preface, earnestly
- ・「人権・平等」に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

#### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
  - (Pt.1) come up to ..., look down on ...
  - (Pt.2) no matter what
  - (Pt.3) work on ..., take its [a] toll
  - (Pt.4) than ever, get to do

### 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

#### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・パートごとの要約を聞き、RECAP SHEET を完成させることができる。【R&R-1】

#### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

#### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・完成した RECAP SHEET を使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】

#### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・伝統文化を保存するために必要な行動について書いたエッセーの内容について、パートナーと話し合うことができる。【MIY-STEP 3】

#### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・与えられたフォーマットに沿って、伝統文化を保存するために必要な行動についてエッセーを書くことができる。【MIY-STEP 2】

・「人権・平等」に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

・本文で読んだ伝統文化を守ることの大切さを踏まえ、伝統文化を保存するために必要な行動についてエッセーを書き、パートナーと内容について話し合うことができる。【MIY-STEP 2, 3】

### 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「人権・平等」に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;  
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

# CHAPTER 10 Experiencing a New Geological Era (pp.148-163) CAN-DO リスト

## 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・ 人類の活動が地球に与えている影響について理解し、その対策を考えることができる。【全体】
- ・ 「人新生」という新しい地質時代概念について理解することができる。【Part 1】
- ・ 人工物の総質量の内訳や、今後の予想について理解することができる。【Part 2】
- ・ 人工物が環境に与える影響について理解することができる。【Part 3】
- ・ 「宇宙船地球号」の概念や、バリー・コモナーの生態学の4つの法則について理解することができる。【Part 3】
- ・ バリー・コモナーの生態学の4つの法則について理解し、地球における私たちのあり方を考えることができる。【Part 4】
- ・ 本文の内容を理解し、RECAP SHEETを完成させることができる。【R&R-1】

## 2. 言語リソース (Language Resources)

### 2.1 文法 (Grammar)

- ・ 仮定法の構文ネットワーク【GC-1】
  - 1.1 仮定を表す表現の意味の違いを理解することができる。
  - 1.2 仮定を表す表現を用いて、状況に合った文章を完成させることができる。
- ・ 倒置【GC-2】
  - 2.1 倒置の構文の働きと意味を理解することができる。
  - 2.2 倒置の構文を用いて、詩を作成することができる。

### 2.2 語彙 (Vocabulary)

- ・ 本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)
  - (Pt.1) era, extent, significant, weigh, approximately, mass, panel, declare, interval, humanity
  - (Pt.2) institute, relatively consumption, scale, breakdown, concrete, brick, combine, correspond
  - (Pt.3) capable, replacement, endanger, ecological, severe, widespread, extinction, concentration, meantime, guarantee, unify, crew, responsible, navigate, crucial, emerge, unprecedented straightforward, manual, steer, context, ecology
  - (Pt.4) ecosystem, circulation, emphasize, heal, intervention, capability, inevitably, foundation
- ・ 上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)
  - (Pt.1) geological, milestone, anthropogenic, artificially, biomass, fungi, microorganism, geologic
  - (Pt.2) exponentially, urbanization, planetary, infrastructure, aggregate, gravel, terrestrial, triple, accumulation, metric
  - (Pt.3) unmatched, biodiversity, reliably, spaceship, envision, sustainably, reconsider
  - (Pt.4) interconnected, catastrophic, sustainability, paraphrase, thermodynamics, unthoughtful, exploitation, thoughtfully
- ・ 「時代」に関連する語彙をネットワークとして整理し、意味を理解することができる。【VN-TASK 1】

### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・ 次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。
  - (Pt.1) to ... extent
  - (Pt.2) in that ...
  - (Pt.3) make up ..., in the meantime, on board
  - (Pt.4) when it comes to doing, get rid of ...

## 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・ 本文を聞いて内容を理解することができる。
- ・ パートごとの要約を聞き、RECAP SHEETを完成させることができる。【R&R-1】
- ・ 責任ある消費と生産に関する講義を聞き、メモを取ることができる。【MIY-STEP 2, 3】

### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・ 内容や場面ごとの状況を正確に捉えて読み、質問に答えることができる。【CC】
- ・ 理解が難しい箇所を、文脈や知識を活用して推測しながら読むことができる。

### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・ 完成したRECAP SHEETを使って、自分の言葉で好きなパートを発表することができる。【R&R-2】
- ・ 責任ある消費と生産に関する講義を聞いて作成した要約文をグループで発表することができる。【MIY-STEP 5】

### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・内容に関連した問いに対して自分の言葉で意見を述べたり、短い会話を行ったりすることができる。【TPS】
- ・責任ある消費と生産に関する講義を聞いて作成したメモについて、グループで話し合うことができる。【MIY-STEP 4】

### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・責任ある消費と生産に関する講義を聞いて作成したメモについて、グループで話し合い、要約文を書くことができる。【MIY-STEP 4】
- ・「時代」に関する語句を理解しながら、穴埋めを行うことができる。【VN-TASK 1】

### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・本文で読んだ人類の活動が地球に与える影響の大きさを踏まえて、責任ある消費と生産に関する講義を聞き、作成した要約文を発表することができる。【MIY-STEP 2~5】

## 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した文法や語彙・慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・「時代」に関連する語彙や慣用表現を自分で調べ、ネットワークの充実化を図っている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読し、定着を図っている。【通読用本文】
- ・授業の振り返り（リフレクション）を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: GC = Grammar for Communication; VN = Vocabulary Networking; MIY = Make It Yours; R&R = Recap & Retell;  
CC = Comprehension Check; TPS = Think-Pair-Share

# READING PASSAGE 1 The Bracelet (pp.164-170) CAN-DO リスト

## 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・物語の概要を把握することができる。【全体】
- ・始業日にトンプソン先生がついた嘘とその理由を把握できる。
- ・テディの様子と、それに対する先生の反応をイメージできる。
- ・過去の記録から、テディの家庭における環境の変化と学校生活への影響を、順を追って読み取ることができる。
- ・テディからのプレゼントを手にした先生の反応と、子どもたちの態度の変化を把握できる。
- ・先生のテディへの接し方の変化と、テディに与えた影響を把握できる。
- ・テディの手紙から、テディの経歴と、先生への変わらぬ信頼を読み取ることができる。
- ・テディの結婚式に母親の席に座るよう頼まれた先生が身につけたものとその意味を把握できる。
- ・お互いに感謝を述べあう 2 人の理由と心情について考えることができる。

## 2. 言語リソース (Language Resources)

### 2.1 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)  
bracelet, messy, unpleasant, delight, review, terminal, ashamed, wrap, ribbon, except, grocery, perfume, exclaim, equally, honor, groom, whisper
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)  
slump, schoolwork, neatly, withdrawn, clumsily, hesitantly, rhinestone, dab, bachelor, MD = Doctor of Medicine

### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。  
all the same, in need of ..., take delight in ..., 'F', to say the least, with a ready laugh, a joy to be around, do one's best, by now, feel bad, except for ..., put ... on, from ... on, come alive, go by, stick with ..., go for ..., Guess what?, make sure ..., make a difference, have it all wrong

## 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。

### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・場面ごとの登場人物の気持ちを読み取ることができる。
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測しながら読むことができる。

### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・本文の内容を理解し、物語のレビューを発表することができる。【AYR】

### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・クラスメイトと意見交換しながら物語のレビューを作成することができる。【AYR】

### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・本文の内容を理解し、フォーマットに沿って物語のレビューを完成させることができる。【AYR】

### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・物語を読み、情景や登場人物たちの関係性をイメージしながら読み進めることができる。さらに、物語のレビューを書いて発表することができる。

## 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した語彙や慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・小説における登場人物の視点に立ったり、感情を汲み取ったりすることができる。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を 10 回以上音読し、定着を図っている。
- ・授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: AYR = After You Read

## READING PASSAGE 2 Hokusai: Art That Makes Waves (pp.171-181) CAN-DO リスト

### 1. 内容理解 (Content Construction)

- ・葛飾北斎の代表作『神奈川沖浪裏』が、日本だけでなく世界中で評価されている理由を理解することができる。  
【全体】
- ・葛飾北斎の作品が千円札や日本のパスポートなど、身近なものに使われていることを理解することができる。
- ・『大波』として知られる『神奈川沖浪裏』が多くの芸術家に影響を与えたことを理解することができる。
- ・北斎の生涯や、北斎が受けた影響について理解することができる。
- ・北斎の作品が現代も影響を与えている理由を理解することができる。

### 2. 言語リソース (Language Resources)

#### 2.1 語彙 (Vocabulary)

- ・本文中に出現する以下の語彙の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。(発信語彙)  
masterpiece, artistic, export, impressed, drawing, dedicate, studio, sketch, pupil, brush, arrival, career, residence, lifetime, passionate, craft, remarkably, ultimate, numerous, dynamic, contrast, tiny, background, incorporate, unforgettable, intense, depth, derive, import, exist, eagerly, adopt, theme, rarely, leading, wrestler, motion, globe, remote, humble, countless
- ・上記の語彙に加え、本文中に出現する以下の語彙の意味を理解することができる。(受容語彙)  
faintly, Dutch, claw, millennium, great, diorama, single-mindedly, crumpled, neglectful, apprentice, varied, deathbed, cosmopolitan, afloat, transparency, pigment, Prussian, renown, ingenious, novelty, impressionist, petite, sculptor, diligently

#### 2.3 慣用表現 (Formulas)

- ・次の慣用表現の意味を理解し、コミュニケーションにおいて使うことができる。  
all around ..., along with ..., a bit, in part, by means of ..., give birth to ..., be based on ..., set ... in motion

### 3. 5領域におけるタスク・ハンドリング (Task-Handling in Five Domains)

#### 3.1 聞くこと (Listening Domain)

- ・本文を聞いて内容を理解することができる。

#### 3.2 読むこと (Reading Domain)

- ・場面ごとに書かれている内容を読み取ることができる。
- ・理解が難しい箇所を、文脈や背景知識を活用して推測しながら読むことができる。

#### 3.3 話すこと (発表) (Spoken Production Domain)

- ・世界に影響を与えている人物やものについて書いた文章を発表することができる。【AYR-2】

#### 3.4 話すこと (やり取り) (Spoken Interaction Domain)

- ・クラスメイトと意見交換しながら文章を完成することができる。【AYR-1, 2】

#### 3.5 書くこと (Writing Domain)

- ・年表を参考に、北斎のアートやそれが世界に与えた影響について書くことができる。【AYR-1】
- ・ナビゲーターに沿って、世界に影響を与えている人物やグループについて書くことができる。【AYR-2】

#### 3.6 領域統合 (Integrated Domains)

- ・説明文を読み、葛飾北斎が日本だけでなく世界中で評価されている理由を理解することができる。さらに、世界に影響を与えている人物やものについて書き、発表することができる。

### 4. 学習への向き合い方と学習管理 (Attitude & Learning Management)

- ・教師の発問に対して積極的に反応したり、ペアワークやグループワークに積極的に参加したりしている。
- ・本課で学習した語彙や慣用表現を、コミュニケーションにおいて積極的に活用しようとしている。
- ・本課の新出語彙・表現を繰り返し読んだり書いたりして、定着を図っている。
- ・本課の全文を10回以上音読し、定着を図っている。
- ・授業の振り返り (リフレクション) を行い、学習の成果と課題を明確にしている。

略語: AYR = After You Read